

組織名	豊橋市役所 企画部 政策企画課
-----	-----------------

1 組織概要

所在地	豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所(東館5F)
TEL	0532-51-3153
FAX	0532-56-5091
URL	http://www.city.toyohashi.lg.jp/
e-mail	seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp
設立	2018年4月1日
設置都市等	豊橋市
代表者	豊橋市長／企画部 政策企画課長

2 組織動向

(1)沿革		
設置経緯	少子高齢化の急速な進行など社会環境の変化への的確に対応する政策の必要性が高まる中、新たな課題に対応するための調査や分析、政策立案のための分析等を実施する組織として企画部未来創生戦略室を設立。2022年度の機構改革により、同室を廃止し、業務を企画部政策企画課へ移行した。	
見直しの動向		
役割(2024年時点)	・政策形成のための調査研究 ・政策研究レター発行 ・政策立案等支援 ・地方創生のための企画調整(まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進等) ・大学連携の推進 ・人材ネットワークの活用(未来創生アドバイザー等)	
(2) 組織体制		
設置形態(択一)	☐ 自治体の内部組織 ☐ 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) ☐ 公益法人(財団法人・社団法人) ☐ 大学の附置機関 ☐ 広域連合 ☐ その他(具体的に:)	
常勤職員数	7	人
うち常勤研究員数	0	人
非常勤研究員数	0	人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	☐ 専門的な知識を有した研究員の採用 ☐ 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) ☐ 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 ☐ 設置市の企画部署と連携した研究の実施 ☐ 設置市の関係部署と連携した研究の実施 ☐ その他(具体的に:) ☐ 特に行っていない	
庶務体制	研究員(市職員)が行っている	
市民参加、外部連携		
(3)会計		

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2024年度予算	11,489	千円
2023年度決算	7,750	千円
2022年度決算	7,179	千円
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1)活動実績		
定期刊行物		
(2)活動のマネジメント状況		
ア テーマ決定 (複数選択可)	☐	設置市からの要請
	☐	外部有識者等からの助言・示唆
	☐	貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択
	☐	貴団体・組織で自ら発案
	☐	その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	☐	設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う
	☐	設置市の関係部署に、報告や提言を行う
	☐	設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する
	☐	報告会を実施する
	☐	日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する
	☐	その他(具体的に: 研究成果を市HPIに掲載)
	☐	特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	☐	設置市の行政評価制度により評価を受けている
	☐	運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている
	☐	外部有識者から評価を受けている
	☐	報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている
	☐	その他(具体的に:)
	☐	特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	・年間の研究テーマについて個人またはグループで調査研究を行う
研究員の専門性育成の手立て	・関係者ヒアリング等を通じた知識と経験の蓄積
研究員のキャリアパス等	
その他	

5 2024年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
滞在人口等分析ツールを活用した現状分析	滞在人口等分析ツールを活用し、2024年7月に発生した車両事故に伴う東海道新幹線運休が豊橋駅に与えた影響について、滞在者数、滞在者の属性、時間軸での人の動き等の分析を実施した。
滞在人口等分析ツールを活用した現状分析	滞在人口等分析ツールを活用し、人気作品と本市が連携して実施した事業により、本市の人の流れがどのように変化したのか分析を実施した。
政策研究レター	本市の温室効果ガス排出量のうち半数を占める事業者（＝市内企業）へのアンケート調査に基づき、脱炭素化に向けた取組状況や課題認識、脱炭素化を進めるためのニーズ等について分析を実施し、今後の本市の方向性について検討を行った。